

ワールドサポーター

正式名称：世界銀行債券ファンド（毎月分配型）

（愛称）

ファンドの概要

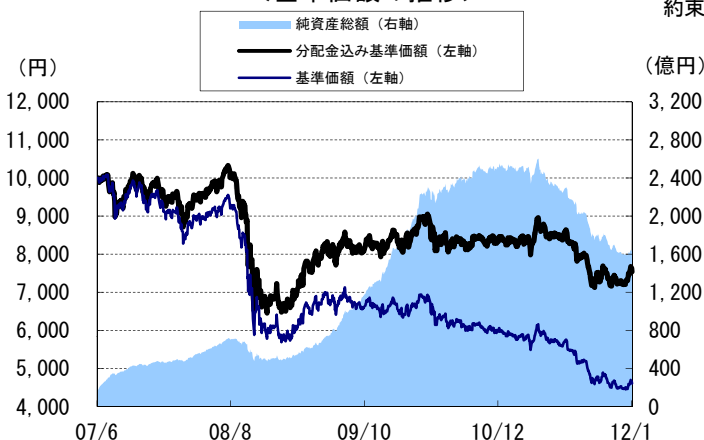
設定日：2007年6月21日 償還日：無期限
 決算日：原則毎月12日 収益分配：決算日毎（第2期以降）

- [ファンドの特色]
1. 相対的に利回りの高い、新興国通貨建て世界銀行債券に投資します。
 2. 信用力の高い世界銀行が発行する短期債券を中心に組み入れます。
 3. 毎月の安定分配をめざしながら、新興国を応援します。

運用実績

※このレポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、
 それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を
 約束するものではありません。

＜基準価額の推移＞



※分配金込み基準価額の推移は、分配金（税引前）を再投資したものを表示しています。

※基準価額は、信託報酬（年率1.268%（税抜1.223%）程度）控除後の値です。信託報酬の詳細につきましては、後述の「手数料等の概要」をご覧ください。

基準価額：4,611円
 純資産総額：1,615.00億円

＜基準価額の騰落率＞

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
4.36%	0.08%	-9.03%	-8.19%	13.45%	-24.64%

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資し計算しています。

＜基準価額騰落の要因分解＞

前月末基準価額	4,478円
当月お支払いした分配金	-60円
要因	
ブラジルレアル	31円
チリペソ	32円
インドルピー	8円
マレーシアリンギット	4円
メキシコペソ	21円
ポーランドズロチ	9円
ロシアルーブル	5円
南アフリカランド	14円
トルコリラ	39円
ナイジェリアナイラ	0円
ガーナセディ	-7円
ザンビアクワチャ	-3円
タイバーツ	0円
債券・その他	41円
当月末基準価額	4,611円

※上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

＜資産構成比率＞

ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA	99.5%
マネー・オープン・マザーファンド	0.1%
その他	0.4%

＜分配金実績（税引前）と決算日の基準価額＞

	設定来合計	直近12期計	11・2・14	11・3・14	11・4・12	11・5・12	11・6・13
分配金	3,240円	720円	60円	60円	60円	60円	60円
基準価額	-	-	5,862円	5,740円	6,069円	5,711円	5,646円
	11・7・12	11・8・12	11・9・12	11・10・12	11・11・14	11・12・12	12・1・12
分配金	60円	60円	60円	60円	60円	60円	60円
基準価額	5,576円	5,125円	5,047円	4,700円	4,709円	4,567円	4,457円

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ワールドサポーター (愛称)

ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスAのポートフォリオの内容

<外国通貨別構成比>

チリペソ	17.8%
トルコリラ	16.2%
ブラジルリアル	15.8%
南アフリカランド	13.2%
メキシコペソ	8.5%
ポーランドズロチ	6.9%
インドルピー	5.2%
マレーシアリングギット	4.3%
ロシアルーブル	3.2%
ザンビアクワチャ	2.9%
ガーナセディ	2.8%
タイバーツ	1.6%
ナイジェリアナイラ	1.4%
アメリカドル	0.0%

※日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドより提供された情報です。

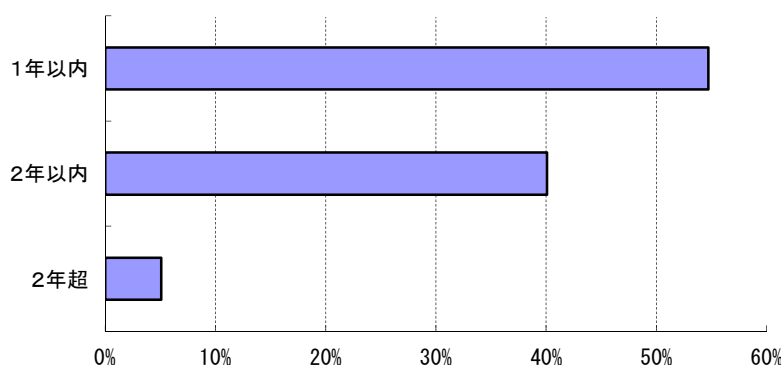
<格付別構成比>

Aaa	99.9%
Aa	0.0%
A	0.0%
Baa以下	0.0%
平均格付	Aaa

※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。
 ※格付はMoody's、S&Pのうち、高い格付を採用しています。
 ※平均格付とは、データ基準日時点で当外国投資信託が保有している有価証券などに係る信用格付を加重平均したものであり、当外国投資信託に係る信用格付ではありません。

※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。

<残存別構成比>



※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。
 ※変動利付債は次回利払い日までの日数で計算しています。

<公社債種別構成比>

世界銀行債券	99.9%
ソブリン債他	0.0%

※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。
 ※ソブリン債は国債、政府機関債、政府保証債、国際機関債などです。

<ポートフォリオの特性値>

ポートフォリオの最終利回り	5.96%
ポートフォリオの直接利回り	5.66%
ポートフォリオの平均残存年数	0.96年
組入債券の銘柄数	48銘柄

※利回りは、個別債券および短期金融資産について加重平均したものです。
 ※最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りです。
 ※利回りは将来得られる期待利回りを示すものではありません。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ワールドサポーター (愛称)

運用コメント

◎運用概況

当月の基準価額は値上がりしました。通貨別に見てポートフォリオの中で当月、最もパフォーマンスが高かった3か国は、メキシコ、トルコとブラジルでした。最もパフォーマンスが低かった3か国は、ガーナ、ザンビアとナイジェリアでした。

◎今後の見通し

スペイン、イタリア両国債が上昇を続け、1月は投資家のリスク選好度が大幅に改善しました。また、スペイン国債に対する需要が旺盛で予定額を上回る金額を調達するなど、多くの国債入札が好調でした。イタリアでは当局が国の直面する問題に正面から取り組んでいるという信頼感から、10年物イタリア国債利回りが大きく低下しました。ギリシャ債務の自発的な債務交換は債権者と最終合意に至っていませんが、当月も進展があり、交渉の最終段階に来ているようです。米国ではFRB(米連邦準備制度理事会)が「2014年終盤」まで金利を「異例な低水準」に維持すると宣言して市場を驚かせました。市場はこのニュースを好意的に受け止め、米国債券市場は上昇しました。欧州の先行きに関する最悪シナリオが消えつつあるとはいえ、欧州及び世界の経済成長の今後には依然として大きな疑問符がついています。IMF(国際通貨基金)は現在2012年のユーロ圏の経済成長をマイナスと予想しており、その結果、世界経済の成長見通しも下方修正しました。新興国及び高金利国の中央銀行の多くは、世界経済の成長鈍化を受けて国際商品価格が長期にわたり下落すると想定し、利下げを実施しましたが、国際商品価格は史上最高値から大幅には下落せずここ数ヶ月は安定しており、その想定通りになる兆しはありません。更に困惑することに、米国の最近の経済指標には、米国経済がまずまずの成長を続け、企業収益が引き続き上向いていることが表われています。一部経済が改善したとはいえ、先進国で政策金利が今後当分の間非常に低い水準で推移するであろうことは確かで、新興国での経済成長と先進国の成長鈍化という世界経済の二極化は続くでしょう。当ファンドでは、力強い成長力と大きな金利差からアジアよりもラテンアメリカへの投資を引き続き選好し、同地域でチリの投資比率を最大にしています。好調な経済成長と経常収支の黒字増大により、ペソは魅力的であると我々は考えます。また、魅力的なファンダメンタルズと金利の恩恵を受けるブラジルの投資比率を高めています。欧州内では欧州と中東の間にある地の利を生かし、両地域の成長から恩恵を受けると思われるトルコへの投資比率を最大にしています。また、トルコの金融システムは盤石で、欧州問題からの逃避先の役割を果たすと見られています。アフリカ諸国の通貨は魅力的な利回りを提供する一方で、他の新興国通貨との相関性が低い状態が続くと見ているため、アフリカ諸国に対する投資比率も維持することを検討します。

◎投資環境

<中南米>

【チリ】

チリペソは円に対して大きく上昇しました。中央銀行は市場の予想に反して月中に0.25%の利下げを実施し、政策金利を5%としました。中央銀行はいまだユーロ圏の危機が先行き不透明であること及び世界経済の減速を強調し、この予想外の利下げの理由としました。経済活動指数や12月の小売売上高は力強い成長を記録しています。

【ブラジル】

ブラジルリアルは円に対して大きく上昇しました。中央銀行は当月、政策金利を11%から0.5%引き下げて10.5%とし、「政策金利を一桁台にすることを検討するシナリオが現実化する可能性が高まった」との声明を発表しました。経済成長は減速したものの、12月の失業率は史上最低水準に低下しています。

【メキシコ】

メキシコペソは円に対して大きく上昇しました。米国への輸出額が大きいことから米国の経済データ改善も好材料となりました。製造業の12月の主要指標が下向いたことは影響しませんでした。中央銀行は当月、金利を4.5%に据え置きました。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ワールドサポーター (愛称)

運用コメント

<アジア>

【インド】

インドルピーは対円で上昇しました。インフレを測るもっとも一般的な指数である卸売物価指数は大幅に鈍化しました。商品価格の下落と政府による食品への補助金の増額計画により、今後数ヵ月においてインフレの更なる鈍化が予想されます。中央銀行は預金準備率を6%から5.5%に予想外の引き下げを行いました。政策金利は据え置きました。

【マレーシア】

マレーシアリングgitは、対円で上昇しました。12月のインフレデータは鈍化しました。経済成長は今や減速していると考えられ、2012年にインフレ率は引き続き鎮静化し、輸出の伸びの低下を受けて中央銀行は今年後半に予防的な金利引き下げを行うと予想されます。マレーシアは輸出依存度が高く、世界経済の変動に大きく影響を受けます。

【タイ】

タイバーツは対円で若干上昇しました。中央銀行は当月、政策金利を12月の3.25%から再度利下げを行い3%にしました。中央銀行の声明では、洪水の悪影響は事前予想より深刻で、成長の下振れリスクが強調されています。

<ヨーロッパ・中東>

【トルコ】

トルコリラは円に対して大きく上昇しました。消費者信頼感、企業景況感指数が悪化していますが、経済活動は比較的活気がある状態が続いています。11月の鉱工業生産が大幅な落ち込みを見せたことは、経済減速という中央銀行の見方を裏付けました。今までの経済の力強さと過去のリラ安は短期的に著しくインフレ圧力を悪化させています。

【ポーランド】

ポーランドズロチは円に対して上昇しました。小売売上高、鉱工業生産販売が好調で、ポーランドのGDPは2011年を通じて力強い成長を記録しました。一方、景況感指数が悪化していることに加え、失業率の上昇も相まって、この先の経済減速を示しています。

【ロシア】

ルーブルは円に対して上昇しました。直近に発表された主要マクロ経済指数は、全面的な好転を示すサプライズとなりました。小売売上高と固定資産投資がとくに大きな上昇を見せ、2008年以来の大幅な上昇率となりました。ロシアの銀行セクターの信用枠が急速に拡大しており、これが堅調な国内消費に寄与している模様です。強気の経済にもかかわらず、12月のインフレ指標が全面的な低下を示しました。

<アフリカ>

【南アフリカ】

ランドは円に対して上昇しました。中央銀行はこれまでよりやや強気なトーンではありましたが、市場の予想通り政策金利を5.5%に据え置きました。中央銀行はインフレ見通しを上方修正しました。中期的にインフレを目標圏内に収めるために適切な措置をとる責任について触れ、利下げの可能性が低いことが明らかになりました。

【ザンビア】

ザンビアの主要輸出品である銅価格の大幅な上昇と、世界的な市場心理の改善にもかかわらず、クワチャは対円で若干下落しました。通貨安の要因の1つとして、国家統計局がインフレの計算方法の変更計画を発表したことが挙げられます。これによりインフレ率は大幅に下方修正され、将来的に金利低下を促すと考えられます。

【ガーナ】

セディは円に対して下落しましたが、中央銀行の為替介入後に買い支えられました。2012年はガーナで大統領選挙があり、一部の投資家は選挙にいたるまでの過剰な財政支出の可能性を憂慮しています。ガーナは新規油田の石油輸出入があるものの、輸入が急増しており、貿易赤字が続いています。

【ナイジェリア】

ナイラは円に対して下落しました。政府は輸入ガソリンに対する補助金の撤廃を発表したためガソリン価格が急騰し、抗議のための激しい暴動が各地で起きました。補助金の撤廃は国にとって長期的には正しい決断であるものの、政治的圧力の高まりを受けて、政府は以前の約60%で補助金を復活させる方針を打ち出すこととなり、政府の信頼性は大きく揺らぎました。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

■お申込メモ

- 商品分類 : 追加型投信／海外／債券
 お申込単位 : お申込単位につきましては、販売会社ないしは委託会社の照会先にお問い合わせください。
 お申込価額 : お申込受付日の翌営業日の基準価額
 お申込不可日 : 取得申込日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、取得のお申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 信託期間 : 無期限（2007年6月21日設定）
 決算日 : 毎月12日（休業日の場合は翌営業日）
 収益分配 : 毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。
 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- ご換金価額 : 換金請求受付日の翌営業日の基準価額
 ご換金不可日 : 換金請求日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、換金請求の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- ご換金代金のお支払い : 原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
 課税関係 : 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

■手数料等の概要

- お客様には、以下の費用をご負担いただきます。
 <お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>
- ・お申込手数料 : お申込手数料率は、3.15%（税抜3.0%）を上限として販売会社が定める率とします。
 ※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、お申込手数料はかかりません。
 - ・換金手数料 : ありません。
 - ・信託財産留保額 : ありません。
- <信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用>
- ・信託報酬 : 純資産総額に対して年率1.268%（税抜1.223%）程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率〔年率0.945%（税抜0.90%）〕、投資対象となるケイマン籍円建外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の組入れに係る信託報酬率〔年率0.323%程度〕となります。このうち、当該外国投資信託の信託報酬率は、純資産総額や為替相場によって変動します。それに伴い、実質的な信託報酬率も変動します。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。
 - ・その他費用 : 組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息 など
- ※その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
 ※当ファンドの手数料などの合計額については、投資家の皆様はファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。
 ※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

■委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社
 受託会社 : 野村信託銀行株式会社
 販売会社 : 販売会社については下記にお問い合わせください。
 日興アセットマネジメント株式会社
 [ホームページ] <http://www.nikkoam.com/>
 [コールセンター] 0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

■お申込みに際しての留意事項

○リスク情報

- ・投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。
- ・当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。
- ・投資対象とする投資信託証券の主なりスクは以下の通りです。
 【為替変動リスク】
 - ・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
 - ・新興国通貨建ての債券は、新興国の通貨の為替変動に影響を受けます。新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

【カントリー・リスク】

- ・投資対象となる債券は新興国通貨建てで起債されたものであるため、新興国における非常事態など（金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

【価格変動リスク】

公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。

【流動性リスク】

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

【信用リスク】

公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

○その他の留意事項

- ・当資料は、投資家の皆様に「世界銀行債券ファンド（毎月分配型）/愛称：ワールドサポーター」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は 日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号
加入協会：社団法人投資信託協会
社団法人日本証券投資顧問業協会

お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	社団法人日本証券投資顧問業協会	社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社愛知銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第12号	○		
株式会社青森銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第1号	○		
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第2号	○		
株式会社阿波銀行	登録金融機関	四国財務局長（登金）第1号	○		
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○		
株式会社池田泉州銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第6号	○	○	
株式会社岩手銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第3号	○		
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第6号	○	○	
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○
SMB Cフレンド証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第40号	○		
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○	
株式会社大分銀行	登録金融機関	九州財務局長（登金）第1号	○		
オーストラリア・アンド・ ニュージーランド・バンキング・ グループ・リミテッド（銀行）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第622号	○		
かざか証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第58号	○		
クレディ・スイス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第66号	○	○	○
株式会社佐賀共栄銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第10号	○		
株式会社佐賀銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第1号	○	○	
株式会社四国銀行	登録金融機関	四国財務局長（登金）第3号	○		
株式会社七十七銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第5号	○	○	
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○	○	
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第7号	○	○	
株式会社常陽銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第45号	○	○	
ソニー銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第578号	○	○	
株式会社第四銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第47号	○	○	
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第20号	○		
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第39号	○	○	
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第114号	○		
株式会社東京都民銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第37号	○	○	
株式会社徳島銀行	登録金融機関	四国財務局長（登金）第10号	○		
株式会社長崎銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第11号	○		
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第6号	○	○	
西日本シティT T証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長（金商）第75号	○		
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第142号	○	○	○
株式会社八十二銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第49号	○	○	
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第21号	○	○	
浜銀T T証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第1977号	○		
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第10号	○	○	
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第134号	○		
株式会社百十四銀行	登録金融機関	四国財務局長（登金）第5号	○	○	
株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第5号	○	○	
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第152号	○		
株式会社福島銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第18号	○		
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第3号	○	○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第3号	○	○	○
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第54号	○	○	○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第181号	○	○	
株式会社南日本銀行	登録金融機関	九州財務局長（登金）第8号	○		
株式会社宮崎銀行	登録金融機関	九州財務局長（登金）第5号	○		
株式会社宮崎太陽銀行	登録金融機関	九州財務局長（登金）第10号	○		
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第38号	○		
株式会社横浜銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第36号	○	○	
楽天銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第609号	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	